

## 参加方法

ご参加ご希望の方は下段の申込フォームからお申込みください。1名様でのお受けとなります。ミニ演奏会以外は参加無料となりますが、一部非公開となる場合がございます。予めご了承ください。



## ご参加はこちら

応募フォーム <https://forms.gle/xNxKzQHRNNA7RLgaA>

お電話 **070-5278-1690**

QR アクセス



## 会場

● 那覇文化芸術劇場  
なはーと



〒900-0015  
沖縄県那覇市  
久茂地3丁目26-27

● ハーモニーセンター



〒901-2114  
沖縄県浦添市  
安波茶2丁目3-5

● もとぶ文化交流センター



〒905-0212  
沖縄県国頭郡  
本部町大浜874番地1

※那覇市文化芸術劇場なはーと駐車場は関係者専用となりますので公共交通機関をご利用ください。  
※ハーモニーセンターには「駐車場」がありません。「カルチャーパーク」の駐車場をご利用ください。

お問合せ

**070-5278-1690** クラシックでしまくとうば実行委員会  
(ビューローダンケ内)  
[buero.danke@gmail.com](mailto:buero.danke@gmail.com)

主催：クラシックでしまくとうば実行委員会  
支援：沖縄県、公益財団法人沖縄県文化振興会  
令和4年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業  
「クラシックでしまくとうば」連続ワークショップ事業

※ご来場の際は、マスク着用・手指消毒等のご協力をお願いします。  
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、内容が変更になる場合があります。



# クラシックで しまくとうば



## Workshop と Concert

# 2022

沖縄らしい、クラシック音楽の探求



# しまくとぅばを語るように、 沖縄でクラシック音楽を奏でる。

沖縄独自のクラシック音楽の語り口があるのではないかな。

それを探求・習得することで、より沖縄らしいクラシック音楽を発信していきたい。

その思いから、このプロジェクトは始まりました。

沖縄の文化基盤である琉球芸能に今一度向き合い理解し、

その視点から、あらためてクラシック音楽を見つめること。

伝統の響きやスタイルを重んじるウィーン流派の知識・表現方法を習得すること。

この2つの視点を軸に、沖縄オリジナルのクラシック音楽のスタイルを探っていききたいと思います。



## 講師ご紹介（順不同）



ワークショップディレクター  
**三ッ石潤司氏**  
作曲家・東京藝術大学准教授



**ライナー・トロースト氏**  
オペラ歌手・ウィーン国立音楽大学教授



**入嵩西諭氏**  
琉球芸能笛奏者



**安井陽子氏**  
オペラ歌手



**花城英樹氏**  
歌三線奏者



**仲村逸夫氏**  
歌三線奏者・沖縄県立芸術大学非常勤講師



**宮城茂雄氏**  
琉球舞踊家・組踊立方・沖縄国際大学非常勤講師



**大湾清之氏**  
琉球芸能笛奏者・楽器製作者



**平塚太一氏**  
指揮者



**嘉数道彦氏**  
琉球舞踊家・組踊立方・沖縄県立芸術大学准教授



**ウィーン交響楽団楽団員**

## Workshop #1

### 方言・訛りと歌の関係

クラシックの歌曲、特に民謡を素材とした歌曲には、方言のアクセントが音楽上でも表現されたものが多数あります。言葉や訛りと音楽の関係を、琉球とウィーン、ヨーロッパを見比べながら探ります。

日時：2022年7月30日(土)、31日(日)  
会場：浦添市ハーモニーセンター（浦添市安波茶 2-3-5）  
講師：三ッ石潤司氏（作曲家・東京藝術大学准教授）  
ライナー・トロースト氏（オペラ歌手）安井陽子氏（オペラ歌手）  
入嵩西諭氏（琉球芸能笛奏者）  
日程：7/30（土）11:00-13:00 講義 15:00-17:00 実演演習（歌曲等）  
7/31（日）11:00-13:00 実演演習 16:00-17:00 ミニ演奏会  
受講者：声楽家  
※一般公開：どなたでも聴講いただけます。（一部非公開となることもございます）  
※ハーモニーセンターには「駐車場」がありません。「カルチャーパーク」の駐車場をご利用ください。 ※ミニ演奏会は入場料500円が必要です。

## Workshop #2

### 琉球王国／ハプスブルク帝国のなかの地域性

「にふえーでーびる」「みーはいゆー」「たんでいがーたんでい」。「ありがとう」という言葉でも、本島、八重山、宮古では全く違います。琉球王国における八重山地方、宮古地方、ハプスブルク帝国におけるウィーン・ハンガリー・スラブ地方の音楽的な違いなどを検証していきます。

日時：2022年9月1日(木)、2日(金)  
会場：那覇文化芸術劇場なはーと小スタジオ（那覇市久茂地 3-26-27）  
講師：三ッ石潤司氏（作曲家・東京藝術大学准教授）  
仲村逸夫氏（歌三線奏者・沖縄県立芸大講師）花城英樹氏（歌三線奏者）  
工藤すみれ氏（ニューヨーク・フィルハーモニックチェロ奏者※予定）  
島田真千子氏（セントラル愛知交響楽団ソロコンサートマスター）  
日程：9/1（木）11:00-13:00 講義 14:30-16:30 実演演習  
9/2（金）14:00-16:00 実演演習 18:00-19:00 ミニ演奏会  
受講者：器楽演奏家  
※一般公開：どなたでも聴講いただけます。（一部非公開となることもございます）  
※ミニ演奏会は入場料500円が必要です。

## Workshop #3

### 宮廷文化と芸能・芸術

ウィーン、琉球、どちらも音楽家と宮廷とは深く関わってきました。芸術・芸能にとって、宮廷はどんな役割を果たしたのか。あらためて確認し、それぞれの宮廷の特徴と音楽や舞踊の特徴の関係を探ります。

日時：2022年11月12日(土)、13日(日)  
会場：那覇文化芸術劇場なはーと小スタジオ（那覇市久茂地 3-26-27）  
講師：三ッ石潤司氏（作曲家・東京藝術大学准教授）  
宮城茂雄氏（琉球舞踊家・組踊立方・沖縄国際大学非常勤講師）  
日程：11/12（土）11:00-13:00 講義 14:30-16:30 実演演習  
11/13（日）11:00-13:00 実演演習 15:00-16:00 ミニ演奏会  
受講者：器楽演奏家 琉球芸能実演家  
※一般公開：どなたでも聴講いただけます。（一部非公開となることもございます）  
※ミニ演奏会は入場料500円が必要です。

## Workshop #4

### 器楽作品の構成要素

音楽は歌から始まったと言われますが、クラシック音楽では、言葉のない純粋器楽作品のジャンルが生まれ、独自の展開をみせました。一方、琉球古典音楽には純粋器楽のジャンルは成立しませんでした。なぜなのか、その理由を探ります。

日時：2022年12月10日(土)、11日(日)  
会場：那覇文化芸術劇場なはーと小スタジオ（那覇市久茂地 3-26-27）  
講師：三ッ石潤司氏（作曲家・東京藝術大学准教授）  
大湾清之氏（琉球笛奏者・楽器製作者）  
平塚太一氏（指揮者）  
日程：12/10（土）11:00-13:00 講義 14:30-16:30 実演演習  
12/11（日）11:00-13:00 実演演習 15:00-16:00 ミニ演奏会  
受講者：器楽演奏家  
※一般公開：どなたでも聴講いただけます。（一部非公開となることもございます）  
※ミニ演奏会は入場料500円が必要です。

## Workshop #5

### 伝統を受継ぐとは

クラシック音楽は記譜法・楽譜というメディアによって作品を後世に残すことができました。しかし表現法や演奏スタイルなどは口伝による部分も大きい。その伝え方について、ウィーン、琉球それぞれの方法を見ていきます。そもそも「伝統とは？」というテーマにもあらためて触れていきたいです。また、伝統文化をコンテンツとしたウィーンの観光戦略等についても取り上げます。

日時：2023年1月4(水)、5日(木)、6日(金)  
会場：もとぶ文化交流センター（本部町大浜 874-1）  
講師：三ッ石潤司氏（作曲家・東京藝術大学准教授）  
嘉数道彦氏（琉球舞踊家・組踊立方・県立芸大准教授）  
ウィーン交響楽団楽団員5名 平塚太一氏（指揮者）  
町田達也氏（外交官※予定）  
日程：1/4（水）10:30-12:30 講義Ⅰ 14:00-17:00 実演演習  
1/5（木）10:30-12:30 講義Ⅱ 14:00-17:00 実演演習  
1/6（金）10:30-13:00 実演演習 16:00-17:00 ミニ演奏会  
受講者：県内演奏家によるオーケストラ、声楽家  
※一般公開：どなたでも聴講いただけます。（一部非公開となることもございます）  
※ミニ演奏会は入場料500円が必要です。